

### 3 中学校国語科の授業改善・充実のポイント

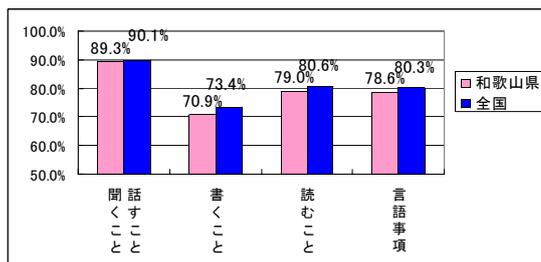
#### (1) 調査結果からみた課題

##### ①中学校国語科の結果概要

#### ■国語A

(主として「知識」に関する問題)

- ◇本県の中学第3学年の平均正答率は80.3% (全国平均 81.6%) です。
- ◇相当数の生徒が今回出題している学習内容を概ね身に付けていると考えられます。



#### 【書くこと】

- ◆手紙の「後付け」の適切な書き方を選択する問題は、正答率が50%台です。
- ◆折れ線グラフから必要な情報を読み取って記述する問題は、正答率が70%以下です。

#### 【読むこと】

- ◆情景描写や比喻に関する適切な説明を選択する問題は、正答率が70%を若干下回っています。

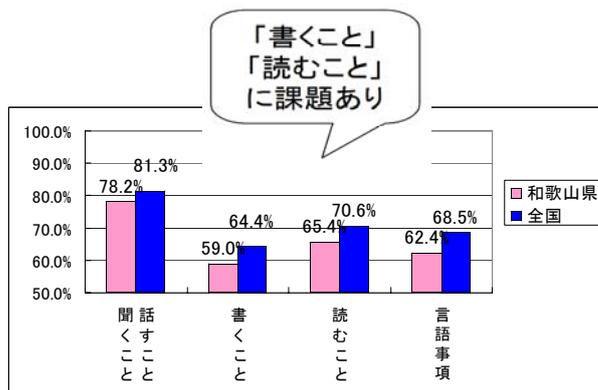
#### 【言語事項】

- ◆漢字を書く設問の正答率は約55%~70%、読む設問の正答率は20%以下のものもあります。文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることに課題があります。

#### ■国語B

(主として「活用」に関する問題)

- ◆本県の中学第3学年の平均正答率は67.0% (全国平均72.0%) です。
- ◆知識・技能を活用する力に課題があります。
- ◆「書くこと」「読むこと」に課題があります。
- ◆記述式問題の平均無解答率(無答率)は16.3% (全国平均10.7%) です。



#### 【書くこと】

- ◆ロボットと共存する未来社会について、想像して自分の考えを書く設問の正答率は約70%、無解答率(無答率)は約15%です。情報を基に、根拠を明らかにしながら、自分の考えを書くことに課題があります。
- ◆「蜘蛛の糸」の内容や構成、表現上の特徴を踏まえ、「三」の場面の必要性について自分の考えを書く設問の正答率は70%以下、無解答率(無答率)は約15%です。文章の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、自分の考えを書くことに課題があります。
- ◆3枚の広告カードを比較して、その相違点を説明する問題の正答率は30%台、無解答率(無答率)は約19%です。複数の資料を比較し、共通点や相違点を整理したうえで、伝えたい事柄や考えを明確にして書くことに課題があります。

#### 【読むこと】

- ◆「蜘蛛の糸」の一場面を取り出し、朗読の工夫の仕方を選択する問題の正答率は60%台です。文章の展開や心情の変化に着目して、工夫しながら朗読することに課題があります。
- ◆3枚の広告カードの特徴を説明したものの適切な組み合わせを選択する問題の正答率は70%以下です。表現の仕方の特徴をとらえることに課題があります。
- ◆広告カードを比較して、共通に書かれている情報を読み取る設問については、正答率が60%台と40%台です。必要な情報を集めて整理することに課題があります。

## ②課題のあった国語B（主として「活用」に関する問題）について

### ◆正答率の低い問題

設問番号	正答率 (%)		
	和歌山県	全国	全国との差
②二	62.4	68.5	-6.1
②三	68.0	74.8	-6.8
③一	67.8	73.1	-5.3
③二(1)	65.8	73.2	-7.4
③(2)	46.2	53.9	-7.7
③三	37.9	42.6	-4.7

### ◆無解答率（無答率）の高い問題

設問番号	無解答率 (%)		
	和歌山県	全国	全国との差
①三	14.7	9.6	+5.1
②三	15.1	10.1	+5.0
③二(1)	10.3	6.8	+3.5
③(2)	14.5	10.0	+4.5
③三	19.2	12.4	+6.8

- ◆国語Bで、正答率が70%を下回る問題は、10問中6問です。
- ◆国語Bで、無解答率（無答率）が10%を超える問題は、10問中5問です。
- ◆国語Bの記述式問題（3問）については、いずれも無解答率（無答率）が高くなっています。
- ◆正答率、無解答率（無答率）ともに課題がみられる問題は、3問あります。
  - (1)「文章を的確に読み取り、読み取ったことを踏まえて自分の考えを書く問題（②三）」
  - (2)「複数の資料を比較して、共通して書かれている情報を読み取る問題（③二）」
  - (3)「複数の資料から得た情報を整理して、伝えたい事柄や考えを明確にして書く問題（③三）」

### 国語Bにおいて課題がみられる問題（1）

#### ②三 文章を的確に読み取り、読み取ったことを踏まえて自分の考えを書くこと

<p>あなたは、中山さん、木村さんのどちらの考えに賛成しますか。（略）あなたがそのように考える理由を、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。（略）</p> <p>条件1 書き出しの文に続けて書くこと。 条件2 文章中の表現や内容に触れること。 条件3 八十文字以上、百二十文字以内で書くこと。</p>	<p>中山さん 私はこの「三」はないほうがいいと思うな。</p> <p>木村さん いや、この作品には「三」があったほうがいいと思うよ。</p>	<p>（※芥川龍之介「蜘蛛の糸」全文掲載）</p> <p>三 中学生の中山さんと木村さんは、以前に読んだ「蜘蛛の糸」は、「三」の場面が省略されていたことを思い出しました。そして、次のような会話を交わりました。</p>	<p>■正答率 県 68.0% 全国 74.8%</p> <p>■無解答率 県 15.1% 全国 10.1%</p> <p>■学習指導要領の領域 ○「書くこと」 ○「読むこと」</p> <p>■問題形式 ○記述式</p>
---	---	--	--

【趣 旨】 作品の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

【誤答例】 ①私は、中山さんの考えに賛成します。理由は、「三」があると中途半端で話がなんだかぱっとしなないと感じるからです。「三」があるよりも「二」で終わったほうが、いいように感じます。  
②私は、木村さんの考えに賛成します。お釈迦様は犍陀太を信じていたけれど、彼はこの期待を裏切ったので地獄へまた落ちました。お釈迦様はかわいそうだし、犍陀太は罰を受けて当然だと思います。

【課 題】 誤答例①は、条件1を満たしているが条件2を満たしていないため根拠が不明瞭になっています。誤答例②は、書き出し文に続いておらず、全体として筋道が通っていない解答になっています。

#### 【学習指導にあたって】

自分の考えが相手に効果的に伝わるように書くためには、根拠を示して説得力をもたせ、筋道立てて書くことが大切です。その際、本文を引用するなどして、根拠を客観的に述べる方法等もあわせて指導することが必要です。

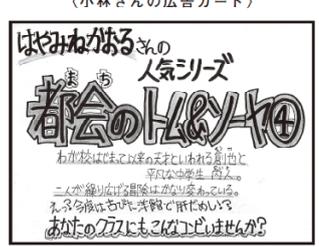
国語Bにおいて課題がみられる問題（2）

③二 複数の資料を比較して、共通して書かれている情報を読み取ること

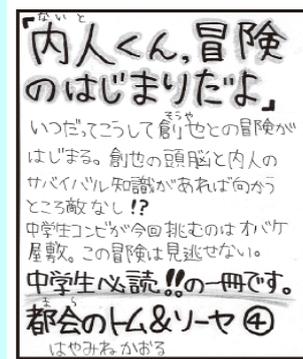
〈中川さんの広告カード〉



〈小林さんの広告カード〉



〈山口さんの広告カード〉

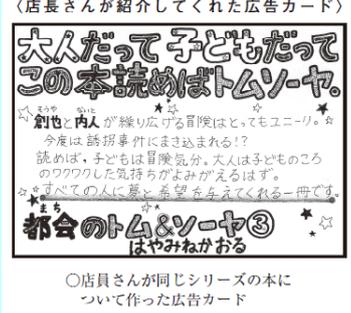


（中学生三人のカード）

二 （中学生）三人の作った広告カードには、「本の題名（書名）」のように共通して書かれている情報がいくつかあります。「本の題名（書名）」以外に共通して書かれている情報を二つ書きなさい。

（※中学生が職業体験で作った広告カードと書店員が作った広告カードを掲載。中学生と店長の会話を問題文として提示。）

（店長さんが紹介してくれた広告カード）



（店員さんのカード）

○店員さんが同じシリーズの本について作った広告カード

■正答率

(1) 県 65.8%  
全国 73.2%

(2) 県 46.2%  
全国 53.9%

■無解答率

(1) 県 10.3%  
全国 6.8%

(2) 県 14.5%  
全国 10.0%

■学習指導要領の領域

○「読むこと」

■問題形式

○短答式

【趣旨】 広告カードを比較して、共通して書かれている情報を読み取ることができるかどうかをみる。

【誤答の分析結果と課題】

- ◆3枚の広告カードを比較して、共通して書かれている情報を2つ書くものです。カードから言葉を抜き出すのではなく、抽象化した情報に直して解答することを求めているものですが、カードの内容や言葉を個別のものではなくは具体的に読み取ることができているものの、「著者名」や「登場人物」のように抽象化・一般化できていないものがみられました。
- ◆共通する情報のうち、少なくとも一つを正答したものが65.8%、二つともに正答したものが46.2%です。一つのみ正答したものは、19.6%です。

【学習指導にあたって】

- 情報を整理する力を身に付けさせるために、資料の比べ読みなどで情報の共通点を見つける学習を行うことが大切です。
- 本に関する基本的な情報（例えば、作者、主人公、ストーリー、ジャンルなど）について、本を紹介するような指導や、そういう情報を利用しながら幅広く本を読むなどの指導の工夫が望まれます。

国語Bにおいて課題がみられる問題（3）

③三 複数の資料から得た情報を整理して、伝えたい事柄や考えを明確にして書くこと

（中学生三人のカード）

（店員さんの作ったカード） 提示

三 （店長の言葉の中に）このカードと君たちのカードを比べてみるとありますが、四人の会話を踏まえ、（中学生）三人の作った広告カードと店長さんが紹介してくれた（店員さんの作った）広告カードを比較して、その違いを説明しなさい。

■正答率

県 37.9%  
全国 42.6%

■無解答率

県 19.2%  
全国 12.4%

■学習指導要領の領域

○「書くこと」  
○「読むこと」

■問題形式

○記述式

【趣旨】 資料に表れているものの見方や考え方をとらえ、伝えたい事柄や考えを明確にして書くことができるかどうかをみる。

【誤答分析と課題】

- ◆三人の中学生と店長の会話から「加えてほしい視点」が何を指すものなのかを十分にとらえられていないと考えられます。会話の内容を的確にとらえたうえで見比べずに、カードだけを比較をしている誤答が多くみられます。
- ◆4枚のカードの「違い」をとらえてはいるものの、主語を省略して説明しているためにどのカードに対するの説明であるかが判別できない誤答もみられます。
- ◆正答率は、国語B（10問）の中で最も低くなっています。
- ◆無解答率（無答率）は、国語Bの中で最も高くなっています。

【学習指導にあたって】

複数の資料を比較して、共通点や相違点を整理したうえで自分の考えを発表させるなど、情報を整理し、目的に応じて活用する力を身に付けさせる必要があります。実践的な言語活動を通して、言葉が社会生活の中で大きな役割を果たしていることを意識させることが大切です。

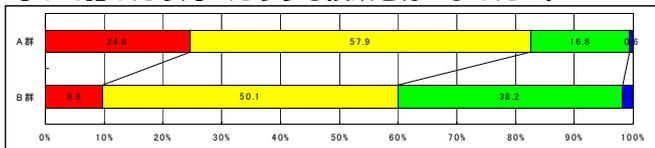
### ③質問紙調査と教科に関する調査とのクロス集計の結果から

■全国学力・学習状況調査における学校質問紙及び生徒質問紙と教科に関する調査とのクロス集計の結果分析から、指導方法の改善・充実のポイントが見えてきます。

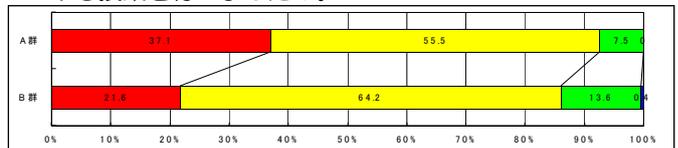
- 平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校（A群）の方が、5ポイント以上全国平均を下回る学校（B群）より、
  - ・国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った
  - ・国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った
  - ・国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った
 割合が高い傾向が見られます。

【学校質問紙】

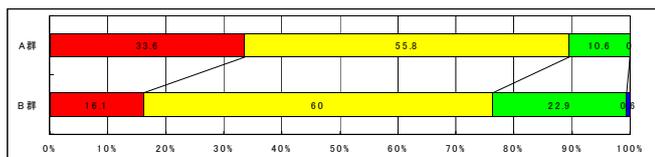
\*第3学年の生徒に対する国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。



\*第3学年の生徒に対する国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか。



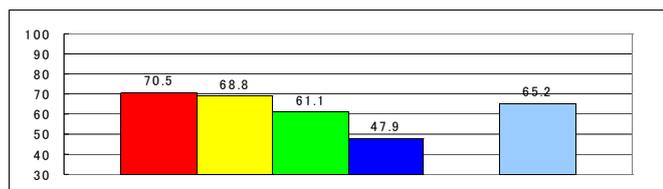
\*第3学年の生徒に対する国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。



- よく行った
- どちらかといえば、行った
- あまり行っていない
- 全く行っていない

- 国語の授業で自分の思いや考えを書くことが多い生徒の方が、国語の記述式問題の正答率が高い傾向が見られます。

【生徒質問紙】 \*国語の授業では、自分の思いや考えを書くことが多いですか。



- 多い
- どちらかといえば多い
- どちらかといえば少ない
- 少ない
- 全体

### ■指導方法の改善・充実のポイント

- (1) 目的や相手に応じて話したり聞いたりすること
- (2) 日常的・計画的に書くことを授業に組み入れ、書く習慣を付けること
- (3) 様々な文章を読む習慣を付けること
- (4) 自分の思いや考えを書くこと

## (2) 指導方法の改善・充実のポイント

### 国語A（知識）

#### 指導改善のポイント

①手紙の後付けの書き方についての理解（**2** 三）

○基礎的・基本的な学習内容の確実な習得  
手紙の書き方などの基礎的・基本的な学習内容を確実に習得させる指導が必要です。

②文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすること（**8** - 2・3、二 2・3）

○漢字の読み書きについての指導の工夫  
日常生活で使用頻度が低いものを意図的に取りあげるなど、漢字の正しい読み書きについての指導の工夫が必要です。

### 国語B（活用）

知識や技能を活用する力、記述式問題に課題があります！

①情報を基に、根拠を明らかにしながら自分の考えを書くこと（**1** 三）

○文章を的確に読みとり、活用する言語活動の工夫

- ・社会生活に役立つ読む能力を身に付けるために、様々な文章の内容や構成、表現に注意しながら、的確に読み取るよう指導する必要があります。
- ・自分の表現に役立てるために情報を活用して読むことも重視していくことが大切です。

②文章の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、自分の考えを書くこと（**2** 三）

③複数の資料を比較して、共通して書かれている情報を読み取ること（**3** 二）

○情報を的確に整理して書く言語活動の充実

- ・図やグラフなどを含めた多様な素材を学習に用いることを重視することが必要です。
- ・複数の資料を比較して、その共通点や相違点を整理しながら自分の考えを書きまとめる言語活動の充実が大切です。

④複数の資料から得た情報を整理して、伝えたい事柄や考えを明確にして書くこと（**3** 三）

⑤文章の展開や心情に着目して、工夫しながら朗読すること（**2** 二）

○文学的文章の描写や表現に注意して内容をとらえる言語活動の充実

本文中の表現などに着目して、人物や情景を思い浮かべながら読み味わうように指導を工夫することが大切です。

（ ）は問題の番号を表します。

## 課題が明らかになった知識や技能を活用する力

- 情報を読み取り、根拠を明らかにして自分の考えを書く力
- 文章を的確に読み取り、読み取ったことを踏まえて自分の考えを書く力
- 複数の資料から得た情報を整理して、伝えたい事柄や考えを明確にして書く力

これらは、PISA型「読解力」と大きく重なると考え、  
本県では、PISA型「読解力」育成のための取組を進めています。  
年度末に「PISA型読解力向上のための実践指導資料集」（仮称）を各学校に配付する予定です。

### ◆ ◆ PISA型「読解力」育成のための指導改善の視点 ◆ ◆

- ① 教科書教材の精読
- ② 教師主導の一斉授業
- ③ 教師と子どもの一問一答
- ④ 憶測による心情や内容の理解
- ⑤ 教材の無批判な受容
- ⑥ 体験と感想を基にした表現

- ① 多様な文字資料の活用
- ② 子ども主導の協同学習
- ③ 子ども同士の討論
- ④ 推論による表現意図の解釈
- ⑤ 教材の評価と批判
- ⑥ 読解を根拠にした表現

国立教育政策研究所 有元秀文 総括研究官による

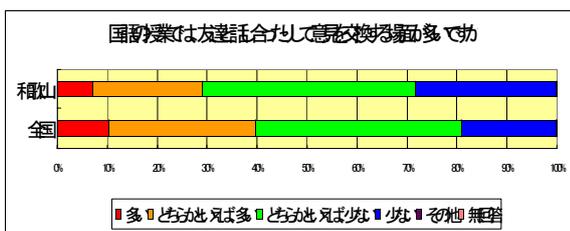
### 具体的アプローチ1 発問の精選を！

- 子どもの興味・関心を引きつける問い
- 何を答えたらよいかがだれにもわかる明確な問い
- 教材の本質の理解にせまる問い
- 全体を読まなければ答えられない大づかみな問い
- 教材文に必ず根拠がある問い
- 個性や創造性を発揮した多様な答えを求める問い

#### 《 発問の具体例 》（2学年「走れメロス」を扱う場合）

- 発問1 「メロスが王と約束した時刻に遅れた理由を3つ答えなさい。」 【情報の取り出し】  
 発問2 「なぜ王は最後にメロスを許し、『仲間に入れてほしい』と頼んだのですか。」 【解釈】  
 発問3 「あなたがメロスだったら、妹の結婚式のために友だちを人質にしますか、それともしませんか。また、それはなぜですか。」 【熟考・評価】

### 具体的アプローチ2 話し合い活動の充実、授業形態の工夫を！



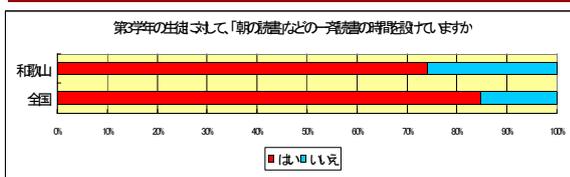
\* [生徒質問紙] 「国語の授業で、友だちと話し合ったりして意見を交換する場面が多いですか」に、本県3学年生徒70.7%（全国60.3%）が、「どちらかといえば少ない」「少ない」と答えています。

\* この結果については、本県3学年生徒の「根拠を明らかにして自分の考えを表現する力」に課題があることと関連があると考えられます。

\* 国語の授業において、根拠を明らかにして意見交換をする「話し合い活動の充実」、話し合いが活発になされるための「授業形態の工夫」が求められます。

\* 個別学習（ワークシートの活用等） ➡ グループ学習（話し合い） ➡ 全体の話し合い

### 具体的アプローチ3 読書活動の充実を！



\* [学校質問紙] 「第3学年の生徒に対して、『朝の読書』などの一斉読書の時間を設けていますか」に、本県中学校の25.9%（全国15.2%）が、「はい」と答えています。

\* この設問については、国語の学力との相関関係があるとの分析結果が出ています。

\* 日常生活における読書活動につながる意図的・計画的な「読むこと」の学習を通して、進んで読書に親しむ態度を育てることが大切です。